

- 。平成16～17年頃には、現在40～44歳の者 4,706人の50歳代乗せとともに、退職する時期となり、全体として700人前後の退職者数が見込まれる。

3 おわりに

退職見込数を試算する際の最注目点は、平成8年度、40～44歳の4,706人及び45～49歳の3,353人、合計8,059人の人々が、いつ退職行動に出るかということである。試算が若干退職時期を遅らせる計画となっているので、実際はもっと早く退職者の増加が見られるかもしれない。

今後の推移を注意深く見守ってまいりたい。

参考文献

- 。学校教育基本調査報告書 千葉県教育委員会
昭和51年度～平成8年度
- 。学校教育実態調査報告書 千葉県教育委員会
昭和51年度～平成8年度

(3) 今後の退職見込数の算定

① 退職見込数の試算

表 1. 今後の退職見込数の試算（平成 8 年度現在 40 歳以上の者の動向）

年度	40～44歳 者 数	退 職 見込数 A	45～49歳 者 数	退 職 見込数 B	50～54歳 者 数	退 職 見込数 C	定 年 見込数 D	退職計 A～D 合計
8	4,706	24	3,353	104	1,335	135	140	403
9	4,682	24	3,249	101	1,200	120	105	350
10	4,658	24	3,148	137	1,080	71	103	335
11	4,634	24	3,011	188	1,009	105	101	418
12	4,610	24	2,823	372	904	43	96	535
13	4,586	142	2,451	248	861	43	109	542
14	4,444	138	2,203	218	818	164	・	520
15	4,306	188	1,985	131	654	164	・	483
16	4,118	257	1,854	194	490	164	・	615
17	3,861	509	1,660	81	326	164	・	754

（備考） 1. 平成 8 年度現在 40 歳未満の若年者の退職は 0 と仮定した。

2. 40～44 歳の平成 8～12 年の 5 年間の退職見込は 45～49 歳の過去 5 年の減少数 120 をこれに適用し、1 年 24 人退職するものと仮定した。

3. 50～54 歳の欄、平成 14 年以降は 818 人が各歳 164 人で定年退職するものと仮定した。

退職見込数（試算）の表の作成について

- 45～49 歳の欄は、平成 8 年度の 3,353 人の在職者を基に、昭和 54 年度の指数を使用し、平成 9 年度以降の在職者数を求め、次いで退職見込者数を算出した。
- 平成 8 年度 40～44 歳の欄は、平成 13 年には、全員 45～49 歳に達するので、以降は、上記指数（資料 2）を使用した。
- 年齢 50～54 歳の欄は、資料 2 の表昭和 59 年度（50～54 歳）在職者を指数 100 とし、以降換算し直した指数を使用した。

② 算定結果の概要

- 平成 9～10 年度の退職者が 350 人前後で当面の最低となる。
- 平成 11～12 年度には、現在 45～49 歳の者が 50 歳代に入り、退職増になるものと思われる。退職者数は 500 人以上になると試算される。

資料 1 は、昭和51年度から平成 8 年度までの年齢構成表から導いた数値である。

昭和51年度に、45～49歳の者が 2,513人いたが、10年後の昭和61年度には、この教員の層は、55～59歳になっており、その在職者1,213人で、この間、1,300人が退職していったことを示している。なお、C/Aは減少率で、51.7%が退職したことを示している。

イ、昭和54年度45～49歳の者の以後10年間の各年度の在職状況

資料 2. 45～49歳の者の10年後の在職状況

年 度 (年 齢)	人 数	前年比	指 数	年 度 (年 齢)	人 数	前年比	指 数	指数 2
5 4 (45～49)	2, 304		100	5 9 (50～54)	1, 685	△ 255	73.1	100
5 5 (46～50)	2, 232	△ 72	96.9	6 0 (51～55)	1, 514	△ 171	65.7	89.9
5 6 (47～51)	2, 164	△ 68	93.9	6 1 (52～56)	1, 363	△ 151	59.2	80.9
5 7 (48～52)	2, 069	△ 95	89.8	6 2 (53～57)	1, 274	△ 89	55.3	75.6
5 8 (49～53)	1, 940	△ 129	84.2	6 3 (54～58)	1, 141	△ 133	49.5	67.7
				元 (55～59)	1, 086	△ 55	47.1	64.5

資料 1 によれば、45～49歳の者が 2000人以上在職していた年度は、昭和51～55年度の 5 カ年であった。10年後の減少率は、高い時で56.9%、低い時で49.2%、5 カ年を平均すると53.1%となる。

昭和54年度45～49歳の者が、平成元年度55～59歳となり、減少率52.9%が最も平均に近いことから、昭和54年度の在職者の年々の変化の状況を今後の退職見込の算定の基準とすることとした。

本県小学校教員の年齢構成とその推移について

55歳以上の者の各歳別の人数は、それぞれ、約100人前後である。今後、数年間の定年退職者数は、各年度とも約100名前後と考えられる。

② 30～40歳代教員について

年 齢	人 数	全体に対する割合
30～34歳	2, 0 2 7	1 1. 8 %
35～39	3, 5 4 7	2 0. 6
40～44	4, 7 0 6	2 7. 4
45～49	3, 3 5 3	1 9. 5

現在の本県小学校教員の実に8割弱がこの年齢層に占められている。

2. 今後の教員退職者数の動向

(1) 定年による退職者

今後5年間は毎年100名程度の退職が定年によるものと考えられる。

(2) 定年前退職者について

① 20～44歳について

若年から40歳代の前半については、年毎の在職者数の変動が少ない。

② 45～59歳の者について

この45歳以上の教員層が定年まで勤務するのか、それともいつの時点で何人くらい退職するか、この点が人事行政や教員養成の面からも最大関心事となっている。

ア、45～49歳の者の10年後の在職状況

資料1. 45～49歳の者の10年後の在職状況

年度	45～49歳 在職者A	年度	55～59歳 在職者B	減少数C (A－B)	C/A×100率 減 少 率
5 1	2, 5 1 3	昭 6 1	1, 2 1 3	1, 3 0 0	5 1. 7 %
5 2	2, 6 0 6	6 2	1, 2 0 1	1, 4 0 5	5 3. 9
5 3	2, 5 7 4	6 3	1, 1 1 0	1, 4 6 4	5 6. 9
5 4	2, 3 0 4	平元	1, 0 8 6	1, 2 1 8	5 2. 9
5 5	2, 0 6 5	2	1, 0 4 9	1, 0 1 6	4 9. 2
5 6	1, 7 8 8	3	9 9 4	7 9 4	4 4. 4
5 7	1, 5 6 4	4	8 6 2	7 0 2	4 4. 9
5 8	1, 3 3 6	5	7 8 2	5 5 4	4 1. 5
5 9	1, 1 6 4	6	6 7 8	4 8 6	4 1. 8
6 0	9 9 8	7	5 6 3	4 3 5	4 3. 6
6 1	6 9 8	8	5 1 4	1 8 4	2 6. 4

(内訳) 男 5, 411人 (約 31.5%)

女 11, 771人 (約 68.5%)

平均年齢 41.2歳 (前年40.1歳)

教員数において、前年比296人の減、平均年齢では前年比約1.1歳の上昇となっている。

次に、教員の年齢構成の概要は次のようになっている。

	人 数	割 合
20歳代	1, 560人	9.1%
30歳代	5, 574人	32.4%
40歳代	8, 059人	46.9%
50歳代	1, 849人	10.8%
60歳代	140人	0.8%
合 計	17, 182人	100%

このような年齢構成の状況から、主な特徴を数点上げると、

ア. 40歳代の教員が圧倒的に多く、約47%と半分近くを占めている。

イ. 20歳代、50歳代がそれぞれ、約10%前後と比率が低い。

ウ. 30歳代は、約32%と全体の1/3を占めている。

(2) 各年齢別の状況

① 高年齢者について

50歳代の者が1,849人 (全体の10.8%) 在職している。

50～59歳教員数 1, 849人

(内訳) 50～54歳 1, 335人

各 歳 別	50歳	403 (297) 人
	51	285 (298)
	52	293 (200)
	53	199 (169)
	54	155 (113)

55～59歳 514人

各 歳 別	55歳	109 (102) 人
	56	96 (98)
	57	101 (108)
	58	103 (111)
	59	105 (144)

各歳別の () は前年の数

本県小学校教員の年齢構成とその推移について

(今後の教員需給予測のための一資料)

野 老 慎 二 郎

Characteristics of Age Group of Primary School Teachers in Chiba Prefecture (Data for Future Possible Recruitment)

By Shinjiro Tokoro

はじめに

ここ数年の千葉県小学校教員の採用は約100人前後と大変厳しくなっている。平成10年度採用予定数も県教育委員会の発表によれば、小学校教諭約70人程度と示されている。

教員の採用数を左右する大きな要因として次のようなことが考えられる。

- (1) 退職する教員の数
- (2) 生徒数をもとにした各学校の学級数
- (3) その他の要因 例えば、法改正による教員定数の改善など。

現在、採用数が極端に少なくなっている主な原因は、生徒減に伴い、学級数の減少による教員定数の激減によるものと、退職する教員数がきわめて少ないことの二つの要因が同時に起ったことによるものである。

ここでは、本県の小学校教員（公立）の年齢構成について考察し、同時に今後の教員の退職見込数を試算してみたいと考えた。

なお、教員の定数に深く関わる児童数の推移等については、別の機会に考えたいと思う。

1. 小学校教員の年齢構成の現状

(1) 概 要

県の教育委員会で実施している学校教育実態調査の平成8年度報告書によると小学校教員数及び平均年齢等は、次のとおりである。

教員数 17, 182人（前年17, 478人）